

エピソード

コマ遊びを楽しんでいる子ども達。最初は難しそうにしていた子もいましたが、繰り返す中で自分でできるようになってきました。いつものようにコマで遊んでいると、一人が「これ使おう!」と保育室にあったフープを持って来て、フープの輪の中でコマを回し始めました。近くにいた友達がそれを見てやってきて、同じようにフープの中にコマを回しました。小さなフープを友達と囲みながら、自分や友達のコマの回り方や動きを見て、楽しんでいます。すると一人が「ベイブレードみたいなやな」と、フープの中でコマが回っている様子を見立て、「ゴーシュー」と、掛け声を言ってからコマを回します。ベイブレードを知っている友達も、知らない友達もいましたが、「ゴーシュー」という掛け声が楽しく、友達と回し始めるタイミングを合わせてコマ回しをするようになっていきました。

子どもの育ちや学び

こっちにおいて



いくで、ゴーシュー!



小さなフープを囲むことで、肩と肩が触れ合うほど近い距離で友達とコマを回しています。自分のすぐ近くにいることで友達の存在を感じ、「友達と同じことをして楽しいな」と感じています。

ベイブレードを知らない子もいましたが、“ゴーシューと言ってから回す”ということが友達の姿を見てわかり、同じ様にやってみる姿が見られます。掛け声を言って、コマを回し始めるタイミングを合わせることで、コマ同士がぶつかりながら回るようになり、新たな面白さを感じています。

保育者の思い

- ・子どもの「これ使おう」の気持ちを大切にしたい。
- ・遊びに使えるものを考え、自分のしたい遊びに取り入れられる柔軟な環境づくりをする。
- ・近くにいる友達の存在を感じながら遊んだり、友達と同じことをしたりする楽しさを感じてほしい。

家庭だったら・・・

子ども達は遊びに使ったら面白いと思うものを、自分なりに取り入れようとしています。大人とは違う、子どもなりの“いいこと考えた”を聞いてみてください。